

様式4の2

令和6年度 学校運営協議会評価報告書2

鳥取県立境高等学校

学校長 酒井 敏彦

評価日	令和7年2月13日（木）
評価・提言	学校の所見・改善策
1 重点目標の達成状況について ○評価項目1のみが、A評価となっているが、今年度の境考学の取組状況から、評価項目2もA評価をつけた方が良いと考える。 ○評価項目3・4については、引き続きA評価となるよう取り組んでいただきたい。 2 目標達成のための取組結果について ○部活動においては、インターハイや全国総文祭に出場するだけでなく、全国大会で優勝（ヨット部）する部が出るなど運動部・文化部ともに活躍しており、引き続き頑張りたい。 ○境考学で取り組んだ内容を、境港市議会やふるさとフォーラムで発信するなど、アウトプットする事で成長が見られる。また、朝市でパフェを販売するなど積極的な取組が増えている。 3 具体目標の達成状況について ○自学自習の習慣などは、自分が目指す道を発見し、学びを自分事として捉え生まれてくる。充実した境考学の取組などから、生徒の将来の目標まで繋がっていくことを期待する。 4 目標達成のために取り組んだ具体方策について ○境考学の充実のために、外部と連携し活動を行っているが、特に1年次生の取組においては、現地調査など深掘りが不足している。2年次生はしっかりと連携できているので、来年度は1年次生も地元企業や市役所などと積極的に連携し、学びを深めていきたい。 5 その他 ○特になし	○今年度は、境考学において学校外での取組が増え、生徒の学びが深くなっている。今後もさらに地域と連携し、境考学を充実させたい。 ○指導体制を改善するなどし、A評価となるよう取り組んでいく。 ○インターハイに出場するだけでなく、全国大会で優勝する部活動が出たことに喜びを感じる。今後も運動部・文化部問わず頑張らせたい。 ○境考学は本校の取組の中でも大きな柱のひとつとなっている。身近にある課題に着目したグループは、活動が深まっており、来年度も自分事として捉えられるよう取り組ませていきたい。 ○大学進学において、多様な入試形態に対応するため、早い時期から将来の目標を定めさせ、どのような学びが必要なのか考え、行動させるよう取り組んでいく。 ○境考学の成果発表会を見られた企業の方や市役所の方、市議会議員の方に行ったアンケートによると、昨年度よりもとても良くなっているとの感想があり、多方面からもっと連携してもいいとのご意見もいただいた。来年度はさらに連携を強めたい。